



講師の野村先生

## スクールカウンセラーの経験から学ぶ子育て

### 第2回家庭教育学級講演会

「子どもをとにかく可愛がってください。大好きだよと心から言ってあげてください」と、穏やかな語調の中にも確かな自信を持って語る野村俊氏。

12月3日、さんぶの森文化ホールで、第2回家庭教育学級講演会が、前千葉黎明高等学校スクールカウンセラーの野村先生を講師に迎えて開催され、教育関係者・一般の方が先生の話に熱心に聴き入りました。

母親の二面性とペルソナ<sup>(※)</sup>についての説明では、白雪姫の物語を例にとり、「お母さんが、たまに子どものことを可愛くないと思うのは、特別なことではありません。自分を変だと思ひ、自分を責めないでください」という先生の話に、参加者からは「とても良かった。ぜひまた講演を聴きたい」との声も聞かれました。

※ペルソナとは自己の外的側面のこと。例えば、周囲に適応するあまり硬い仮面を被ってしまう場合、あるいは逆に仮面を被らないことにより自身や周囲を苦しめる場合などがあることをいう。

## みんなが知り合う交流の場

### 「知り合おう・つながろう・活かしかおう」市民活動フェスタ'08

市民活動フェスタ'08は、12月13日、さんぶの森中央会館で開催され(来場者数約1,800人)さまざまな団体の活動に触れることができました。中でも午前中に行われた「大雑談会」では、講師に千葉大学の関谷准教授を迎え、100人を超える参加者がグループごとに「地域で明るく生きるためには…」をテーマに雑談を行いました。今回のフェスタは、「市民活動ネットワーク風の宿」のメンバーが実行委員となり、会議を重ねてアイデアを出しながら運営したものです。フェスタは、皆さんと交流が深まり、つながりあい、助け合って楽しく住み心地の良い地域にしていけることを思い描いています。参加者からは「いろいろな人と知り合えて有意義だった」という声が聞かれました。



さんぶの森中央会館前に集った多くの人だかり。竹を使ってパンを焼くコーナーでは香ばしい香りが人をひきつけていた



杉林のはるかかなたから、まばゆい太陽が顔をのぞかせた

## 良い年でありますように

### さんぶの森グリーンタワーから初日の出

平成21年元旦、初日の出を見ようとさんぶの森グリーンタワーに多くの人が集りました。辺りが明るくなり始めた早朝6時半、高さ40メートルにある展望室に上ると、すでに20人ほどが日の出を今か今かとカメラを片手に待っていました。しかし、東の方向に見える杉林と微かに見える海の蜃気楼の上は、厚い雲に覆われ予定時刻を過ぎてはなかなか出てきません。ようやくまぶしい太陽が顔をのぞかせた6時50分、展望室には歓声が沸き起こりました。母娘で来ていたお母さんは「ここで見るのは3年目。自宅から近くていいところです」と話していました。